

FireSIGHT Management Center へのデバイスの登録

目次

[概要](#)

[設定](#)

[ステップ 1：管理対象デバイスに FireSIGHT Management Center を追加する](#)

[FirePOWER アプライアンスの Web ユーザ インターフェイスの使用](#)

[CLI \(コマンドライン インターフェイス \) の使用](#)

[ステップ 2： FireSIGHT Management Center にデバイスを追加する](#)

[関連記事](#)

概要

新しい FireSIGHT Management Center をイメージ変更するか、または購入するとき、トラフィックを検査するデバイスによってそれを登録する必要があります。FireSIGHT Management Center は、FirePOWER アプライアンス、NGIPS 仮想プライアンス、FirePOWER サービスを実行する ASA などに登録できます。この技術情報は FireSIGHT Management Center のデバイスを登録する方法を記述します。

設定

ステップ 1：管理対象デバイスに FireSIGHT Management Center を追加する

FirePOWER アプライアンスの Web ユーザ インターフェイスの使用

注: NGIPS 仮想デバイス、および ASA で実行されている FirePOWER サービスでは、Web インターフェイスを使用できません。FireSIGHT Management Center と FirePOWER アプライアンスでは Web ユーザ インターフェイスを使用できます。仮想デバイスまたは FirePOWER サービスが稼働している ASA がある場合は、CLI からマネージャを追加する手順に従ってください。

1. [System] > [Local] > [Registration] に移動します。
2. 画面右上の [Add Manager] ボタンをクリックします。
3. [Management Host] フィールドに、デバイスを管理する Management Center の IP アドレスを

たはホスト名を入力します。このデバイスの登録に使用する固有の登録キー（英数字）を入力します。

4. 情報を入力したら、[Save] をクリックします。

CLI (コマンドライン インターフェイス) の使用

1. FireSIGHT Management Center に登録するデバイスの CLI に接続します。

ヒント：ASA 5512-X を通じた ASA 5555-X で、`sfr uing` ASA CLI からのモジュールにコンソールセッションを開くことができます。マルチ コンテキスト モードでは、システム実行領域からのセッション。

2. ユーザ名として、`admin`、または CLI 設定 (管理者) のアクセス レベルを持っている他のユーザ名を使用してログインします。

3. プロンプトで、`configure manager add` コマンドを使用して FireSIGHT Management Center にデバイスを登録します。

注: デバイスを FireSIGHT Management Center に登録するには、常に一意の英数字登録キーが必要です。これはユーザが指定する簡単なキーで、ライセンス キーとは異なります。

このコマンドの構文は次のとおりです。

```
> configure manager add <hostname | IPv4_address | IPv6_address | DONTRESOLVE>  
reg_key <nat_id>
```

上記の構文では、

- `<hostname | IPv4_address | IPv6_address | DONTRESOLVE>` は、FireSIGHT Management Center の完全修飾ホスト名または IP アドレスを指定します。FireSIGHT Management Center を直接アドレス指定できない場合は、DONTRESOLVE を使用します。
- `reg_key` は、デバイスを FireSIGHT Management Center へ登録するために必要な一意の英数字による登録キーです。
- `nat_id` は、FireSIGHT Management Center とデバイスとの間での登録プロセス中に使用されるオプションの英数字文字列です。これは `hostname` が DONTRESOLVE に設定されている場合に必要です。

ほとんどの場合、次のように、登録キーと共に FireSIGHT Management Center のホスト名または IP アドレスを指定する必要があります。

```
> configure manager add DC_IP_Address my_reg_key
```

ただし、デバイスと FireSIGHT Management Center が NAT デバイスによって分けられている場合は、登録キーと共に一意の NAT ID を入力し、ホスト名の代わりに DONTRESOLVE を指定します。たとえば次のようにします。

```
configure manager add DONTRESOLVE my_reg_key my_nat_id
```

次の例では、FireSIGHT Management Center と管理対象デバイス間に NAT 境界がなく、**123456** が登録キーとして使用されます。

```
> configure manager add 192.0.2.2 123456
```

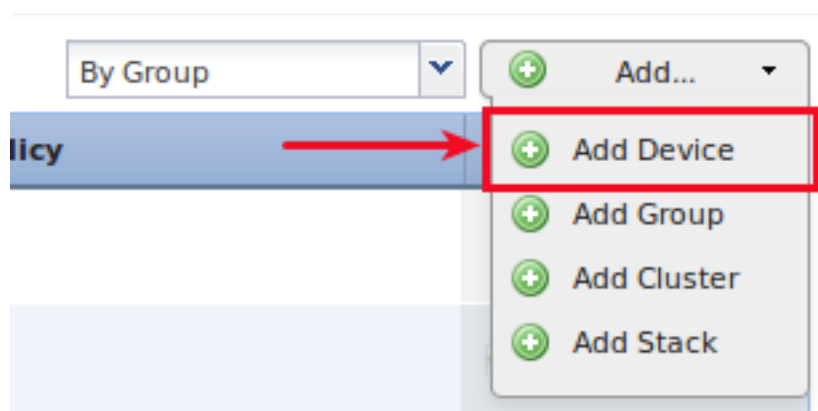
Manager successfully configured.

ステップ 2 : FireSIGHT Management Center にデバイスを追加する

1. Management Center の Web ユーザ インターフェイスにログインします。 ページ上部の [Devices] タブをクリックします。



2. 右上にある [Add] をクリックします。 ドロップダウン リストが表示されます。 [Add Device] をクリックします。 画面中央に、デバイス情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。



3. [Host] フィールドに、デバイスの IP アドレスを入力します。

4. [Registration Key] フィールドに、以前に指定したワンタイム登録キーを入力します。

5. 残りのオプションは必要に応じた値に設定します。 NAT ID を使用していた場合は、[Advanced] をクリックして展開し、[Unique NAT ID] フィールドに同じ NAT ID を入力します。

Add Device



Host:	<input type="text" value="192.0.2.3"/>
Registration Key:	<input type="text" value="123456"/>
Group:	<input type="text" value="None"/> ▼
Access Control Policy:	<input type="text" value="Default Intrusion Prevention"/> ▼
Licensing	
Protection:	<input type="checkbox"/>
Control:	<input type="checkbox"/>
Malware:	<input type="checkbox"/>
URL Filtering:	<input type="checkbox"/>
VPN:	<input type="checkbox"/>
Advanced	
Unique NAT ID:	<input type="text"/>
Transfer Packets:	<input checked="" type="checkbox"/>

6. [Register] をクリックします。これで、FireSIGHT Management Center からデバイスを管理できるようになりました。

関連記事

- [FireSIGHT システムの初期設定ステップ](#)